

SimDiff を TortoiseGit で使用するには

目次

はじめに	2
TortoiseGit を設定して SimDiff を使用する	2
SimDiff を差分ツールとして設定する	3
SimDiff をマージツールとして設定する	4

はじめに

TortoiseGit では、バージョンの比較やマージの競合の解決が必要な場合に、外部の差分/マージツールが起動するよう設定することが可能です。単一の外部ツールがすべてのファイルに適用されるよう設定できますが (SimDiff では推奨していません)、拡張子を指定すると、特定の種類のファイルに適用する複数の外部ツールを設定できます。

なお、マージの競合が存在しない場合には、TortoiseGit は外部マージツールを起動することはできませんので、ご注意ください。たとえば、任意のブランチ内でモデルファイルが変更されていても、主要ブランチにそのファイルの変更が影響しないという状況では、そのブランチを主要ブランチにマージする場合に、マージの競合が存在しないため SimDiff は起動されません。

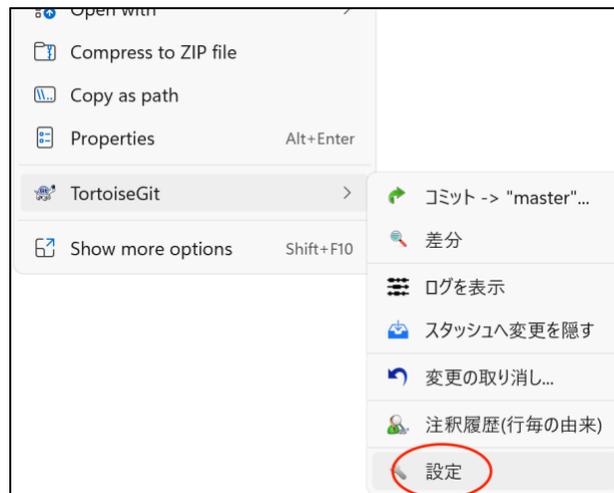
TortoiseGit でのマージおよび競合の解決処理についての詳細は、以下の TortoiseGit オンライン文書をご覧ください。

<https://tortoisegit.org/docs/tortoisegit/tgit-dug-merge.html>

<https://tortoisegit.org/docs/tortoisegit/tgit-dug-conflicts.html>

TortoiseGit を設定して SimDiff を使用する

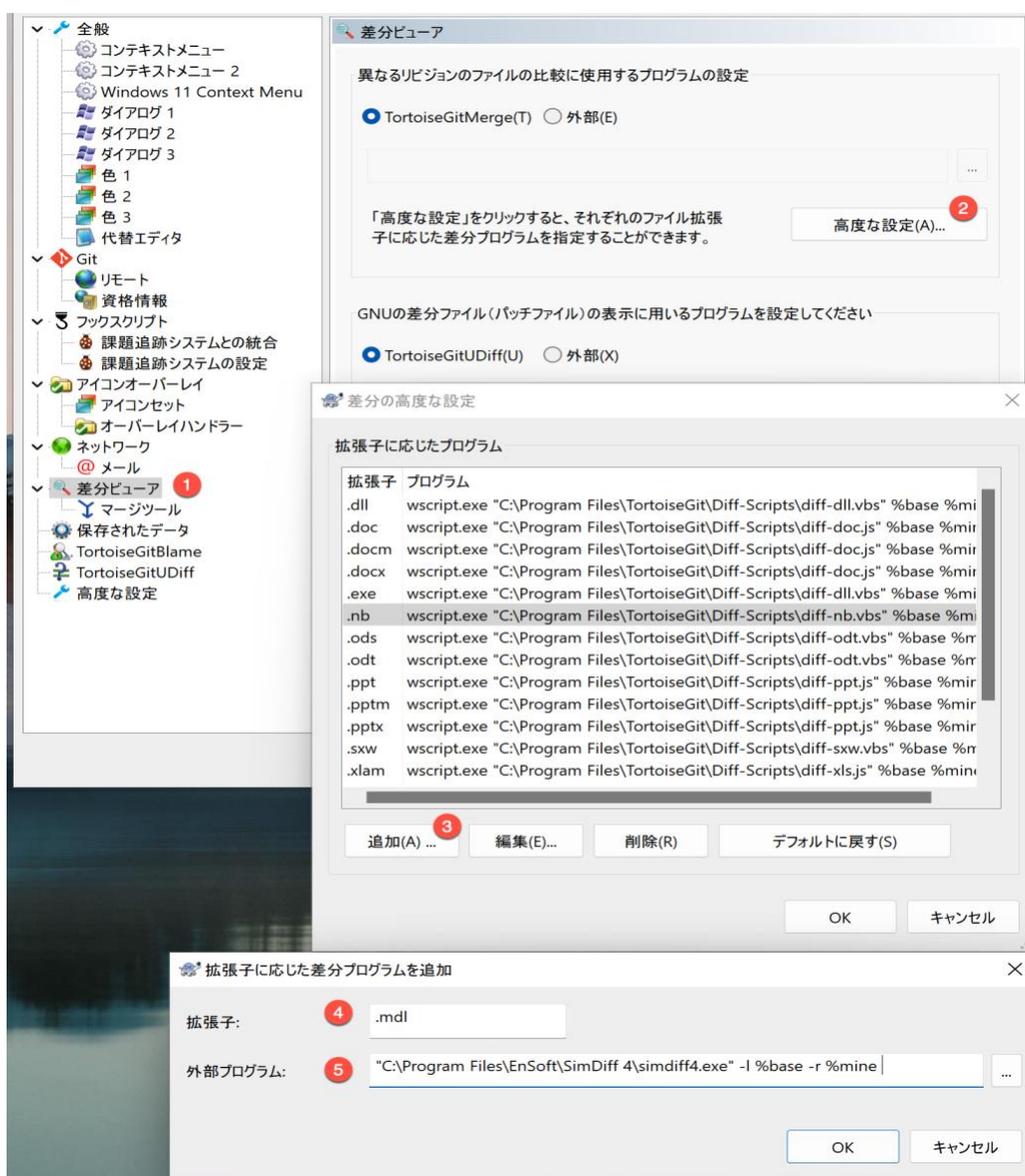
SimDiff の差分設定とマージ設定を行います。まず、基本的な操作として TortoiseGit Settings ダイアログボックスを表示します (エクスプローラで、TortoiseGit フォルダを右クリックし、表示されるメニューから設定を選択します)。



SimDiff を差分ツールとして設定する

1. サイドバーのツリー表示から、差分ビューアを選択します。
2. 「高度な設定(A)...」ボタンをクリックして、詳細設定を開きます。
3. 既存の拡張子のエントリを編集するか、存在しない場合には、新しいエントリを追加します。
4. 拡張子のエントリに「.mdl」または「.slx」のいずれかを入力します。両方の拡張子に対して設定したい場合には、拡張子毎に手順を繰り返す必要があります。
5. 適切な SimDiff のコマンド (下記を参照) を入力し、表示されるすべてのダイアログボックスで OK をクリックします。

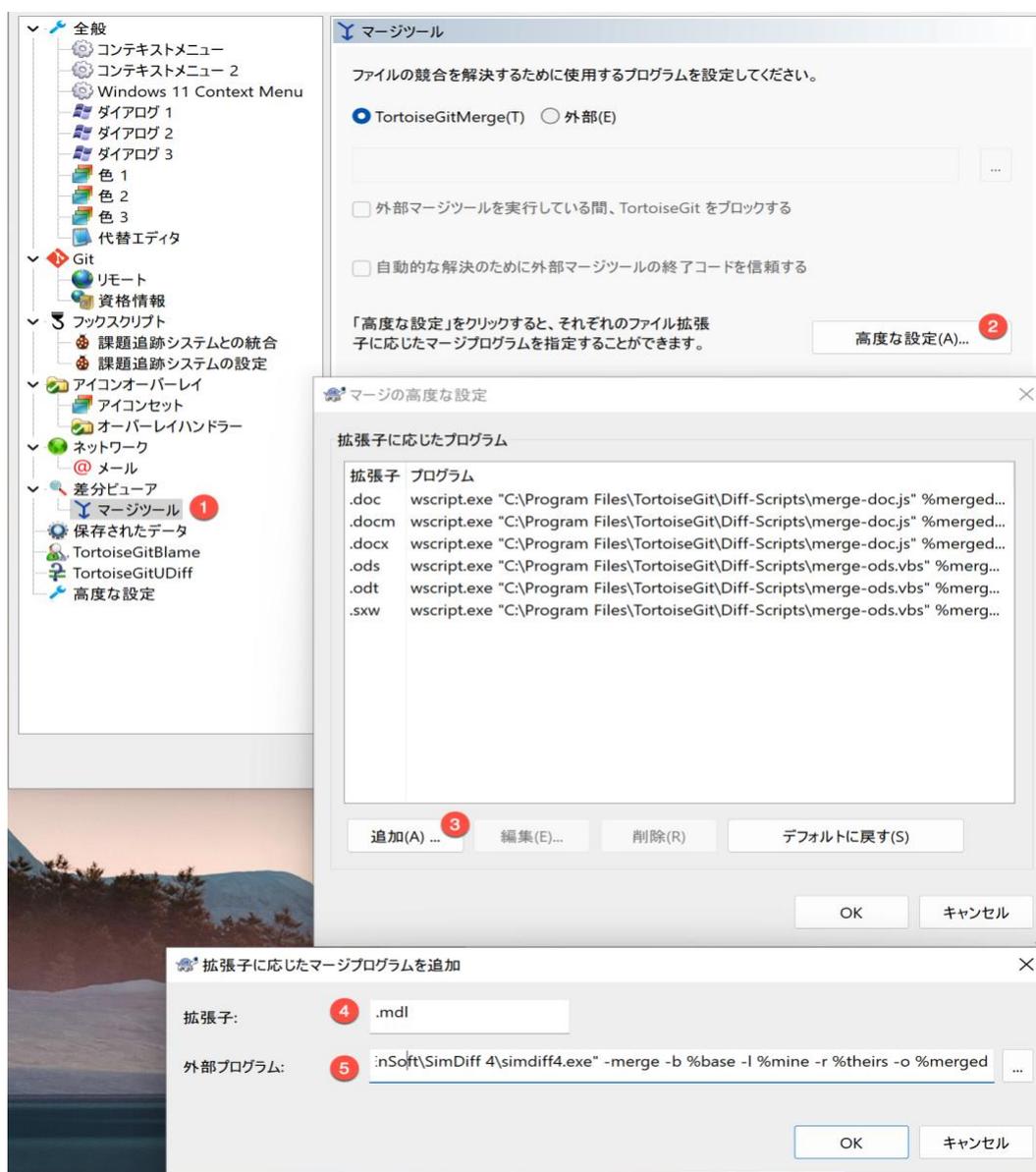
```
"C:\Program Files\EnSoft\SimDiff\simdiff4.exe" -l %base -r %mine
```



SimDiff をマージツールとして設定する

1. サイドバーのツリー表示から、差分ビューア▷ マージツールを選択します。
2. 「高度な設定(A)...」ボタンをクリックして、詳細設定を開きます。
3. 既存の拡張子のエントリを編集するか、存在しない場合には、新しいエントリを追加します。
4. 拡張子のエントリに「.mdl」または「.slx」のいずれかを入力します。両方の拡張子に対して設定したい場合には、拡張子毎に手順を繰り返す必要があります。
5. 適切な SimDiff のコマンド (下記を参照) を入力し、表示されるすべてのダイアログボックスで OK をクリックします。

```
"C:\Program Files\EnSoft\SimDiff\simdiff4.exe" -merge -b %base -l %mine  
-r %theirs -o %merged
```



注意 - 下記のサブセクションの説明は、SimDiff がデフォルトのフォルダにインストールされていることを想定しています。インストール先が異なる場合には、適切なフォルダを指定して、コマンドを入力して下さい。

TortoiseGit で外部ツールを設定する場合についての詳細は、以下のオンライン文書をご覧ください。

<https://tortoisegit.org/docs/tortoisegit/tgit-dug-diff.html#tgit-dug-diff-tools>